

みなさんおはようございます。久しぶりの朝会です。ちょうど一ヶ月前、大谷選手のグローブを紹介して以来です。

その朝会で、こんな話をしました。大谷選手は、「あいさつをする」とか「ごみを拾う」とか「道具を大切に使う」などの、野球とは一見関係ないようなことも大切だと信じてやり続けていた。覚えていますか？

大谷選手はあれだけすごい選手なのに、人を見下したり、偉そうにしたりせず、いつもだれに対しても「ありがとう」という感謝の気持ちで接しているそうです。だから大谷選手は、野球ファンだけでなく、野球選手や審判からも好かれているのでしょう。

大谷選手のようなすごい選手にはなれなくても、大谷選手のようにだれからも好かれる人になることはできると思います。それは「ありがとう」という言葉を、笑顔ではっきり声に出して言うことです。

みなさんは、一日に何回「ありがとう」と、声に出して言っていますか？一度もない、という人はまず一日一回言ってみましょう。一回言えたら今度は一日三回、三回言えた人は一日五回、五回言えた人は…そうですね、今度は五人の人に言ってみましょう。笑顔で。はっきりと。何かしてもらって、すぐに言うなら「あ、ありがとう」ですが、すこし時間がたってから言うなら、例えば

「きのう〇〇してくれてありがとね。」とか「いつも〇〇してくれてありがと。本当に助かる。」と言うと、言われた方もうれしい気持ちになります。

「『ありがとう』と言えるような親切を、人からしてもらうことがそんなにない」という人は、本当にそうでしょうか？周りの人をよく見てください。毎日、あなたやみんなのために、いろんな人がいろんなことをしてくれています。まずはそれに気付くことが大事です。

「ありがとう」は魔法の言葉だと思います。「ありがとう」と言われていやな気持ちになる人はいません。友達や家族とけんかしてしまい、どうしても「ごめんなさい」が言えない時など、「ありがとう」と言えるタイミングがあったら、ぜひ言ってみるといいと思います。それが仲直りのきっかけになるかもしれません。

きょうは「『ありがとう』と声に出して言ってみよう」という話でした。